

まちを元気にする拠点づくり部門 予備選考会（2012/05/19）審査 運営委員の意見

団体名		(仮称) 空き家再生プロジェクト実行委員会										
投票員	小河原					佐谷					結果	満票採用
	春日					福永						
審査の重点												
① 有用性	地域の課題が的確に認識され、課題の解決を期待できるよう取り組みになっていること	優れている点・期待する点	【小原】 ・農大の学祭、NPOと連携→すでに準備中!! ・周辺住民とのWS企画。プランを自分たちで100%固めない。 ・セルフビルド塗り壁WS企画中 ・空家暮らしの体験がベースになっている。	【小河原】 ・空家再生のコミュニティ型モデルとして期待できる。 ・空家対策の実践モデルに。	【福永】 ・空家活用のイメージ、採算性をきちんと示すことでオーナーの安心感が生まれる→空家対策として期待できる。	【佐谷】 ・空家再生やサブリースのモデルとなることを期待しています。	【首藤】 ・空家再生の成功事例として、その後の空家利用に影響を与える可能性あり。	【土肥】 ・かつては地域の一部であった空家に、もう一度役割を与えるというのは、納得です。	【市川】 ・空家活用のモデルとして期待したいです。	【鶴尾】 ・高齢者、子育てママが担い手となること		
		改善が望まれる点	【福永】 ・次のステップとして空家家の見つけ方 ・オーナーへの情報発信の方法 ・公的機関との連携が効果的 ・耐震性への対応は？ ・外側（緑側や門）のつくり方（外側の公共性）→地域の信頼感	【小河原】 ・商店街、地域住民のニーズの把握が重要。 ・農大生4人…開かれた場にしてほしい。	【市川】 ・整備前から地域の人と一緒に考えることが重要ではないか？ ・周辺住民との関係づくりはしっかりとやってほしいです。	【小原】 ・空家という問題は世田谷区に限らないと思うのでこの課題設定をより”地域の”課題に近づけてみては？ ・コミュニティとの関係、地域の団体等との企画運営面の協力・参加を得る工夫をお願いします。	【鶴尾】 ・地縁系、商店街の参加（今後の取組に期待）	【佐谷】 ・「モデル性」をどこまで求めるのか、特殊解でもいいと思いますので、特殊性とモデル性を整理していただければ、と思います。	【首藤】 ・成功事例となった後の展望は？（空家対策、どうひろがっていくのかな？）	【土肥】 ・この地域に必要なものや人を的確に把握して、空家にインフィルしているか？		
② 拠点性	親しみやすい場のデザインや活動プログラム、開かれた運営体制など、多様な人々や団体が集いやすくなる魅力・工夫があること	優れている点・期待する点	【福永】 ・空家家を公共性のある場として活用	【市川】 ・コワーキングスペースとシェアハウスの機能がある。	【小河原】 ・1Fがオープンになることで利用促進が期待できる。	【鶴尾】 ・多様なプレイヤーの参加・参画（→組織化）	【首藤】 ・農・子育てママの起業、シェアハウスなど課題解決のための要素が多様なので成功したらBigな拠点となりそう…					
		改善が望まれる点	【市川】 ・建物自体の管理・マネジメント方法が気になります。（事務機能、外と内の関係など）日々の管理、どこまでバリアフリーにできるかは難しいかも？	【土肥】 ・改善というよりも疑問？ただのシェアハウスになる可能性はないか？ そうならない工夫は？ ・個室と共有部分について、コンフリクトがおこらないか？	【佐谷】 ・いろいろな団体をまきこんでセルフビルのにできるというですね。	【首藤】 ・アクティブ&のんびりうまく同居できるといいな!!	【小原】 ・施設と外とのつながりを作る時、内部だけでなく外へ向かうように。 ・地域（世田谷区）の要望、ニーズを把握されてみては。	【福永】 ・公共空間部分のバリアフリー化。せめて車イス一台でも！最初から!!	【小河原】 ・個室1 & 特に4が狭くなるか？	【鶴尾】 ・サポーター（ファン層）の可視化、グループ化（会員、サポーター、1ロオーナー）	【不明】 ・高齢者、障害者への配慮も必要。トイレ、段差。	
③ 創造性	区民ならではの発想・創意工夫が見られる先駆的モデルとなる提案や公共的空間の新たな活用形態を生み出す取り組み方法であること	優れている点・期待する点	【福永】 ・農大との連携 ・事業の複合的取り組み	【小河原】 ・カフェとコワーキングの一体化で住民の利用が期待される。	【土肥】 ・何もこわさないで新しい価値を創る!! というのは素晴らしい。こわさないのは家？歴史？関係？…など考えてしまう。	【佐谷】 ・住まいとして魅力的、ゲストルームもいいですね。	【首藤】 ・組み合わせが新しい、と思います!!	【鶴尾】 ・シェアハウス×コワーキング×カフェのセットは面白い(×海外ゲストハウスも潜在力がある)	【市川】 ・野菜と学生と子育てのコミュニティがおもしろいと思いました。	【小原】 ・事業家に向けた①体制づくり②大家とユーザーのマッチングの仕組み③魅力的なプログラム ・各々実績があること(コワーキングスペース・シェアハウス・空家生活) ・コワーキングスペース、時間で切ってシェア ・空家対策でない活動同士が集まる ・学生とのコミュニケーションによる状況把握 ・シェアハウス住人の想定「シェア」に対して意識高いので大丈夫。		
		改善が望まれる点	【福永】 ・居住者の地域参加（町会員になる。防災訓練に参加する、など）	【佐谷】 ・「住まい」と「拠点」は性格が異なるので、住む人を選ぶかも。音などハードで解決できるところは対応しておく、住む人のハードルが下がるかもしれません。	【小河原】 ・ねらいが複数なのでマネジメントが重要。 ・エコハウスとしてのモデル化を図りたい。	【市川】 ・耐震の問題がどこまで改善できるかは気になるところです。	【鶴尾】 ・点ではなく面が良くなる「見せ方」(→世田谷空家対策のシンボルへ) ・基準法との整合性に留意を!! (公的支援を受ける場合)	【小原】 ・コワーキングスペース、カフェの具体的なイメージを。まだ具体的にプランに組み込まれていない印象がありました。 ・建築法との整合性に留意を!! (公的支援を受ける場合) ・周辺住民との関係（性）構築を大切に。 ・多機能なゆえ、運営するのに支障ないか…? ・活動におちた時に参加者が離れることがある…。要注意!!				